

1. 件 名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（792）」

2. 日 時：平成30年3月22日 11時55分～11時56分

3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

大塚安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、平成26年5月20日になされた東海第二発電所の設置変更許可申請について、これまでに実施された審査会合及びヒアリング等を踏まえ、当該申請書の重大事故等の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る補足説明資料の一部が提出された。

（2）原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等）
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等）
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等）
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等）
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等）
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所／東海第二発電所 技術的能力比較表（対象項目：1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手段等）